

目指せ！持続可能な社会の担い手を育む教育の実践

～ユネスコ世界ジオパークとともに～

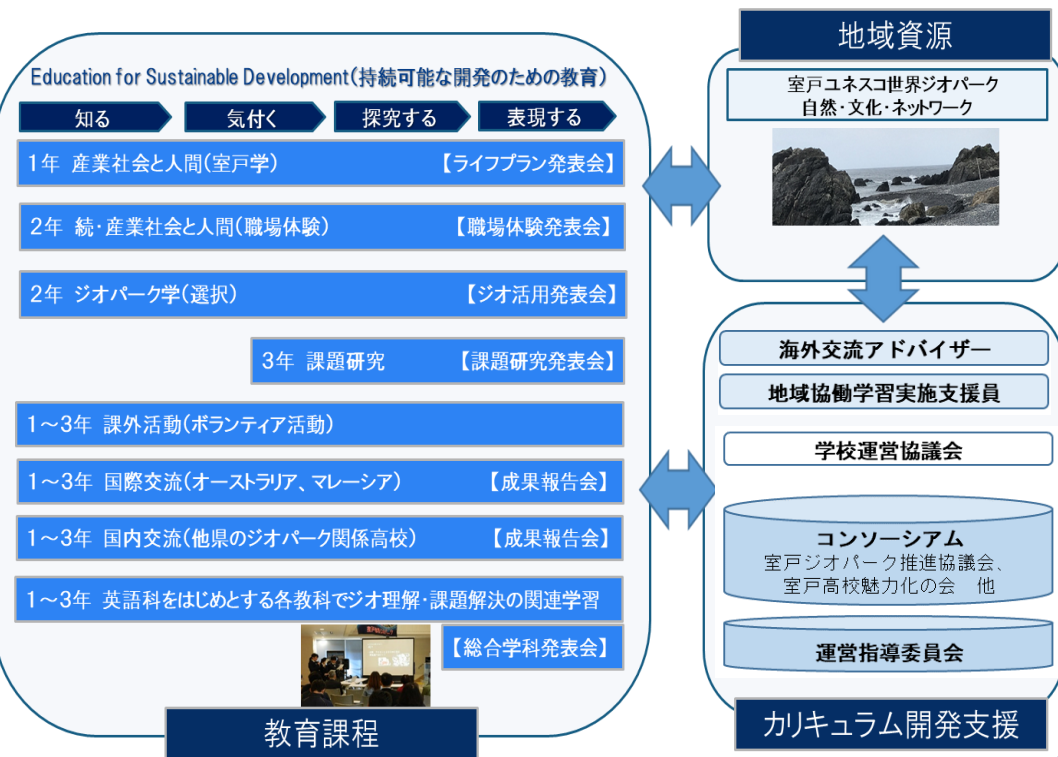
研究開発の背景

本校が位置する高知県室戸市においては少子高齢化が急速に進み、将来、地域を支える人材育成が喫緊の課題である。室戸地域が、室戸ユネスコ世界ジオパークに認定されていることを生かし、その資源を有効活用し、国内外の様々な地域と関わる機会を提供することによって、グローバルな視野で物事を捉え、地域の課題を解決できる資質を持つ人材を育成する。

実施体制

キャリア教育に関わる特色ある科目の取組を継続させ、人とのつながりの深化、地域貢献、地域課題解決学習を行うため、コンソーシアムの見直しを図るとともに海外交流アドバイザー等の配置や他組織との連携によってカリキュラム開発に取り組む体制を再構築した。また、室戸ユネスコ世界ジオパークの素材、人的ネットワークを活用し、国内外の高校との交流を生徒が積極的に活動する機会を設けた。

カリキュラムマネジメント 世界的な視野を持って地域で活躍できる人材育成



令和3年度の目標

- ESD体制のプログラム開発及び実践…3年間をとおした地域との協働による探究的な学びを実現する特色ある科目学習を充実させる。
- 地域貢献活動…生徒が室戸市民と協働で地域貢献に精力的に取り組み、室戸地域特有の課題を発見し、解決方法を探究する。
- 海外交流活動…室戸ジオパーク推進協議会及び室戸市と連携して生徒と学校間の交流を推進するとともに地域振興につなげる。
- 国内外のユネスコ世界ジオパークとの交流…ジオパークを活用した地域貢献活動を行っている複数の高校と交流をもち、「ユネスコ世界ジオパーク高校生国際交流会」を開催する。

取組状況

- ジオパークを題材にした海外交流体験によるグローバルな視点を加えた、カリキュラム・マネジメントを開発する取り組みを進める。
- ステークホルダーとの連携を推進することで、課題意識をさらに掘り下げ、より実現可能な解決策を考えさせる。
- オンラインの積極的な活用による交流活動の推進(オーストラリア・アメリカ・マレーシア・韓国)
- 「国内外のジオパーク地域の高校生が一堂に会して交流会をする」という計画だったが、対面から、ハイブリッド、オンラインへと変更を重ね、最終的に規模を大幅に縮小して開催。

成果と課題

海外を含めた地域外との直接的な交流は行えなかったが、ICTを活用したオンライン交流を行うことにより、国際交流や地域交流に関する関心・意欲の高まりが見られた。

今後、本校で活用できる協働体制(室戸ジオパーク推進協議会との連携協定・ユネスコスクールへの申請・コンソーシアムの運営)を活用し、これまでに培ってきた地域との協働による教育改革を発展させていきたい。